



# OSAKA・II ZONTA CLUB

大阪Ⅱ ゾンタクラブ第38号(2014年9月)



## 巻頭言

新会長(2014～2016) 田中 茂美



この度、2014年度から2年間、大阪Ⅱ ゾンタクラブ会長を拝命し、重責に身の引き締まる思いがいたします。当クラブは創立20周年を昨年迎え、人で例えればようやく成人式に達した若者といったところでしょうか。まだまだ成長過程にあります。今まで、SOMクラブの大阪Ⅰ ゾンタクラブはもとより、多くの諸クラブの方々に支えられつつ会員同士が互いに手を携え歩んできました。長い年月の間に、会員の顔ぶれも変わり時流の流れとともに活動内容も変遷してきています。当初は「女性の地位向上・男女参画共労運動・社会進出支援」を中心とした活動でしたが、国際的に女性地位が低い(女性政治家・上場企業での女性管理職・女性上級官僚の割合が低い)と指摘されている我が国において、ゾンタクラブ会員に専門職・企業管理職・研究職として活躍中の会員の占める割合が高率で、敢えて「女性の地位」を主張する必要性や実感が乏しくなった為か国内活動としては、「慈善・ボランティア・文化活動」が目立つようになってきました。ここで注意すべきは対弱者面で決して「上から目線」にならないよう常に自省しつつ行動することだと思います。これは、ODA活動でも言えることで、「支援させていただく」という気構えがないと相手側に受け入れられないことがあります。当クラブでは長年に亘りベトナム障害者の自立支援・視覚障害者支援・銭太鼓チームによる施設訪問・大阪市緑化支援・大阪府女性基金支援等、息の長い地道な活動をしてまいりました。維持継続できているのは相手側への敬意と尊厳をもって対峙しているからであり、そして、それらの活動が今やクラブのカラーとなりつつあります。華々しい国際活動も見当たらず、派手なイベントをすることもありませんが、参加いただいた多くの方々から「地に足の着いた活動・心に残るひと時」と好評を得ています。微力ですが、今後も代々の会長・会員の皆様が歩んでこられた道程を受け継ぎ皆様が大阪Ⅱ ゾンタクラブ会員であることを誇りと思っただけのようより一層の発展に寄与させていただければ光栄と存じます。

また、繁忙の中、貴重な時間を割いて例会・イベント・活動にご参加いただいている会員の皆様が「参加して良かった。楽しかった」と思っただけの会にできればと思っております。至らない点が多々あるかと存じますが何卒よろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。甚だ粗略ですが、巻頭の言葉とさせていただきます。



午前の部 報告

笠置 伸子



2014年5月11日(日)、大津プリンスホテルコンベンションホールにて、大津ゾンタ主催でおこなわれました。

当日は五月晴れで、一年に何日も無い様なお天気に恵まれて、129名の出席者の中で岡澤則子エリアディレクターの開会挨拶で始まりました。

今年度のメモリアル会員は一名で、全員で山本美恵子物故会員の冥福をいのり、黙祷を捧げました。

来賓紹介の後三宅定子ガバナーによる来賓あいさつがありました。その後、ビジネスセッションがおこなわれました。



国際大会概要の説明では大会に於いて

- : 各クラブは必ず話し合って、クラブの意見を決めておきデリゲイトをもって行く。
- : 欠席するクラブは、必ずプロシキーとプレデンシャル登録票を、他クラブに預けて持って行ってもらう。
- : 出席するクラブも、急に現地で何か有った時に備えて、プロシキーのコピー(英文)を用意して、プレデンシャル委員会に届けておく。
- : 全てにおいて時間厳守で、指定される席に着席する。
- : 登録は毎日一番先におこない、必ず説明があるので、トレーニングセッションに参加する。
- : 借りた機器は使用法をきき、責任を持って必ず返すこと。損失した時は各クラブで弁償する。
- : シャトルバスが出ているのでメールをみて確認すること。

等という心得の説明がありました。

次にロバート法に基づき会議の進行のミニ勉強会を、実演をしながら説明がありました。

そのあと、新旧の会長会議がおこなわれました。今年は新しい試みで、11クラブの新旧会長が壇上に上がって公開で交代式をおこないました。各クラブの会長に年会費、入会金、例会の回数、曜日、時間等の情報公開をしましたのち、各クラブ会長の一言発言がありました。

- 大阪Iクラブ 50周年の出席の御礼。
- 京都Iクラブ 来年50周年を迎えるご案内。
- 京都IIクラブ 秋に30周年を迎えるご案内。
- 福井クラブ 来年30周年を迎えるご案内と鯖江市は日本の眼鏡の80%以上を生産しており、使用しなくなった老眼鏡を集めて東南アジア諸国に無料で送っているので使わなくなった老眼鏡を送って欲しいと要望がありました。
- 奈良ゾンタクラブ 月1回、女性のレベルアップのためアドボカシーの勉強会を開いている。一步一步進んでいくのが目標である。
- 京都雅ゾンタクラブ 少人数精鋭で頑張っており全員の総意で勉強会をしている。
- 大阪IIゾンタクラブ 20周年の記念誌を配布する。会報が喜ばれていると言うゾンシャンの声が沢山聞こえてくる。
- 和歌山ゾンタクラブ 前向きに頑張っていき、次期会長も次次期会長もきまっている。
- 奈良万葉ゾンタクラブ 15周年を迎え次期エリアディレクターをだす。
- 金沢ゾンタクラブ 来年10周年を迎え、金沢子供図書館に世界の絵本を寄贈する。薔薇観音にばらを寄贈して今大きく咲いている。
- 大津ゾンタクラブ 今年、15周年を迎える。会報は出していないが、毎年音楽に関するイベントを行っている。

以上、盛り沢山の内容で午前中のエリアミーティングを終了しました。



午後の部 報告

幡山 玲子



午後の部は、毎日新聞編集委員の鈴木琢磨氏によるご講演と、ワークショップ「Noriko の部屋」が行われた。

講師の鈴木氏は大阪外国語大学で朝鮮語を学ばれた方で、朝鮮半島情勢に詳しく、「北朝鮮の女性は今・・・？」と題してご講演いただいた。冒頭、ワイドショーで大王イカと北朝鮮問題は視聴率がとれるといわれるが、その共通項は実態がわからない怖さ、謎解きにあるということから始まって、いろいろお話をしてくださった。おりしも政権内で粛清騒ぎのあった時期で、男性優位の儒教の国で女性がどのような地位にあるか興味があったが、結論から言えば政情も含め確かなことはよくわからないとのこと。「なら」、や大津京の「にしこうり」は朝鮮語で「国」や「町」を意味するとおり、日本は古くから朝鮮半島と関係が深く、隣国との交流を示すイベントを行うだけでなく、隣国に関心を示すこと、普通に知ることが重要であると締めくくられた。

続くワークショップでは徹子の部屋をもじったNoriko の部屋で、個人の実態を覗くという副題にあるとおり、7名のゲストに岡澤ADがいろいろと質問をして、その人の人となりを紹介して下さった。次期ガバナー、大津市長、料理研究家、着物の着付け指導者、次期AD、声楽家、実業家など、様々な人生経験をふみ超えてこられた方々のお話は、とても印象に残り、ゾンシャンが生身の存在として身近に感じられた。

今回のエリアミ-ティングは、AD はじめ大津ゾントの皆様のおもてなしの心満載のアイデアあふれる会合であった。久しぶりのエリアミーティング参加であったが、今まで出席した会合を思い出しつつ帰途に就いた。



打ち上げパーティ兼大津ゾントクラブ設立15周年記念イベント報告

河村 さと子



エリアミーティングのすべてのプログラムの終了後、パーティ形式で上記二つのタイトルのもと華やかなイベントが行われました。

最初に地元びわ湖ホールの座付ソコ登録メンバーである新進気鋭の4人のテノールの歌唱による「四大テノール」のコンサートがありました。4人の歌手は既に関西ではすばらしい実力の持ち主として知られており、その安定感のある歌唱は存分に私達出席者を楽しませてくれました。プログラムは琵琶湖周航の歌に始まり、日本歌曲、カンツォーネ、オペラと多岐にわたり、ラストはイタリア民謡「フニクリ・フニクラ」で賑やかに締めくくりました。

引き続き、芸達者揃いの大津ゾントクラブ会員によるアトラクションが繰り広げられました。エリアディレクター兼15周年実行委員長の岡澤則子様のご挨拶、現ガバナーの豊田由起子様のご乾杯のご発声のあと、会員の伊藤圭子様の祝舞に始まり、玉井洋子様・伊藤良子様によるバイオリン演奏、そして、岡本曜子様・鈴木計美様・辻野紀子様・岡澤則子様たちによるユーモアあふれる歌唱披露で会場は大いに盛り上がりました。

サービス精神満点の企画イベントは、岡澤則子様の才能溢れる独特のパフォーマンスが詰め込まれ、びっくり箱をひっくり返したようなサプライズに満ちた楽しい集いでした。

大津ゾントクラブの皆様に心から感謝申し上げます。



黄色いバラのコンサート

清水 聖保



3月8日は国連が定めた国際女性デーです。その3月8日をゾンタローズデーとして私たち大阪IIゾンタクラブのゾンシャンは、今年は大阪北新地のサロン・ドゥ・アヴェンヌで、音楽を楽しみながら心安らぐひと時をゲストの方とともに過ごしました。

河村さと子会長の司会で、ピアノの宮崎剛さんとバイオリンの寺西一己さんの演奏を楽しみました。ゲストの方のリクエストを宮崎先生の見事なリレー演奏で驚かされながら堪能しました。世の中の騒がしい出来事を忘れ、ひと時の穏やかな時間を楽しみました。



特にこの日は、河村さと子会長が編曲したゾンタソングを参加した皆で歌い、ゾンタローズの黄色いバラを象徴する明るい歌が会場中に満ち溢れました。女性が社会に奉仕し貢献することをめざす中で、音楽はだれでも共通の癒しを与え社会参加に力を与えてくれるものです。

そんなひと時を過ごすことでゲストの方にも大阪IIのゾンシャンの取り組みを知って頂けたと思います。

黄色い大きなバラをいつも心に、これからも私たちの活動が活発になることを願いながら過ごした日でした。







西村 博子

20周年記念誌刊行まで

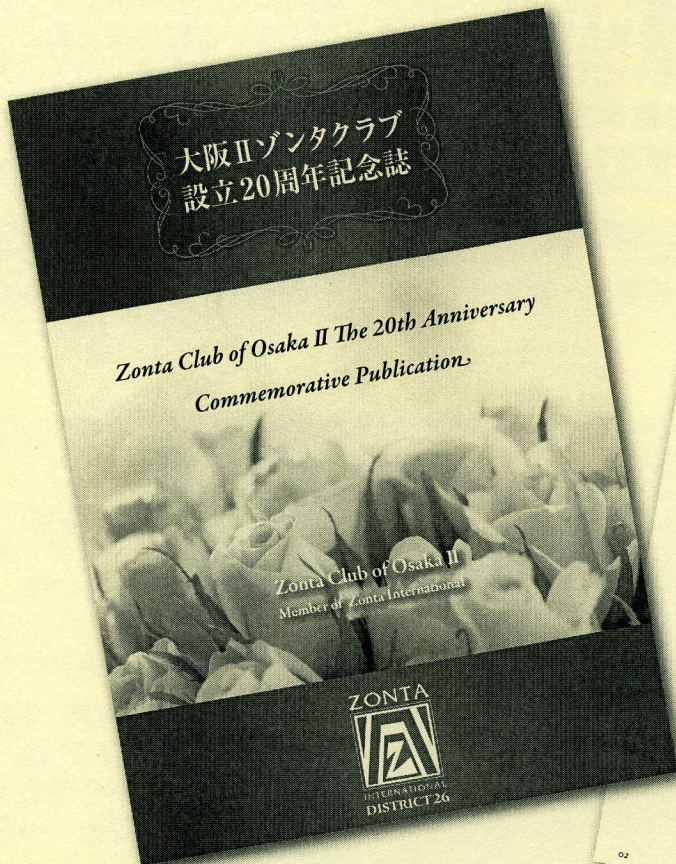
私たちのクラブの創立 20 周年に際し、記念誌を発行する案が例会にて承認されました。

最初の打合せは、昨年 8 月の納涼会にて行われ、編集に向けてのおよその方向性がまとめられ、その作業がスタートいたしました。今回の編集では、10 周年記念誌以降のその後の 10 年の歩みをまとめることが、課題になりました。そのために、20 周年の集大成であった周年式典時のプログラムを中心に、各年度ごとの活動、特に奉仕活動は特記され、また、現在の全会員の熱い思いの寄稿と写真が入りました。文字よりも活動の写真をたくさん載せましょうという掛け声で、写真も集められました。

「なつかしいわー」と完成した記念誌を手にとられ、一生懸命見られた会員の姿は、印象的です。刊行にあたり、それぞれの時間の制約の中で、ひとつの形になったことはこの上ない喜びです。資料探しのため、歴代の会長様はもとより、多くの写真をご提供くださり、原稿整理や校正作業などの多大なご協力に、心より感謝申し上げます。年 2 回発行される会報誌にも、助けられました。

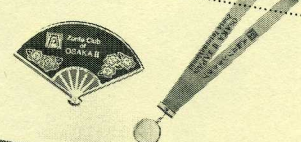
編集に携われましたことを感謝しつつ、過去の記念誌の編集に携わった方々のご苦勞を味わう機会にもなりました。30 年に向けての展望は、これからの活動の中で示されていくことでしょう。

末筆になりましたが、当初ご依頼していた印刷屋さんの突然のご逝去にあたり、その業務を引き継いで、最後までつたない私たちの編集作業にお付き合いくださり、完成まで共に歩んで下さいました企画・印刷のイチマルニの中川様に、この紙面を借りてあつくお礼申し上げます。



目 次

ソングコード (信条) .....	
国際ゾンタ加盟証状 .....	3
ご挨拶 大阪Ⅱソンタクラブ 会長 河村 さと子 .....	4
大阪Ⅱソンタクラブ 設立 20 周年記念式典 プログラム .....	5
お祝いの言葉 大阪Ⅰソンタクラブ 佐々木 静子 国際会長のメッセージ 26 地区ガバナーのメッセージ、26 地区エリア 3 エリアディレクターのメッセージ 記念式典、記念講演 祝賀、祝賀コンサート、ご挨拶 記念式典ご来賓・ご出席者 奉仕活動支援先、災害義援金寄附先	6
大阪Ⅱソンタクラブ 設立 20 周年記念式典・祝賀会アルバム .....	14
大阪Ⅱソンタクラブ 会員紹介 .....	16
大阪Ⅱソンタクラブ 20 年の歩み (2012 年度～2003 年度) .....	20
大阪Ⅱソンタクラブ 設立 10 周年記念式典アルバム .....	40
大阪Ⅱソンタクラブ 20 年の歩み (2002 年度～1993 年度) .....	42
編集後記 .....	53







4月の移動例会で、4月12・13日と吉野山にお花見に行って参りました。私は、河内長野にいながらまだ一度も吉野の桜を見たことがありませんでした。ただ、ゾンドクラブに入会させて頂いて初めての旅行でしたので、ワクワクそして少しドキドキしながら参加させていただきました。田中茂美さんが立ててくださったスケジュールでは、宿坊「竹林院群芳院」現地集合、翌日ジャンボタクシーで上千本まで上がり、山を下りながら花見を楽しみ、昼食は阿倍野に帰って「花外楼あべの店」で頂き、解散というものでした。

私は、阿倍野近鉄駅で偶然、堀さん・笹岡さんとお会いでき、予約されていたタクシーに便乗させて頂くことができ、とてもラッキーでした。お花見の大勢の人でケーブルカーにも長い待ち行列ができていました。桜は満開で、1番良い土・日に当たったようでした。途中で偶然ご一緒になった白石さんと4人で宿坊にチェックインしました。白石さんの「旅館着に着替えて集合と書いてあった」との言葉で4人は浴衣に着替え、みんなの所へ向かいました。ところが・・・他の人は服のまま、そして私たちを変な目で見ています。そして、大笑いになったのですが・・・「6時に旅館着（りょかんちやく）で」を、「りょかんぎで」と読み間違えていたのです（笑）。でもこれで一気に座も盛り上がり、楽しい雰囲気の中おいしいお食事を楽しみました。

竹林院は豊臣秀吉や昭和天皇もお泊りになったというお宿で、お庭も千利休が作ったといわれる大和三庭園に数えられる素晴らしいものでした。何百年も生きてきただろう桜の木が何本も植えられ、しばし古に思いをはせました。

翌日は予定通り2台のジャンボタクシーで、まず上千本まで上がり、歩いたり、車に乗ったりしながら「これぞ一目千本」という桜を楽しみました。お天気も良く、本当にこれ以上ない吉野の桜日和だと思っています。街道沿いにはお店がたくさん出ていて、おいしいおせんべいをかじったり、お土産をいろいろと買ったりして楽しみました。帰りの特急にも予定通り乗ることができ、指定席もとっていただいていたので、ゆっくり大阪まで帰ってこられました。花外楼では徳光さんもお店で待っていて下さり、とても美味しいお食事とおもてなしをいただきました。

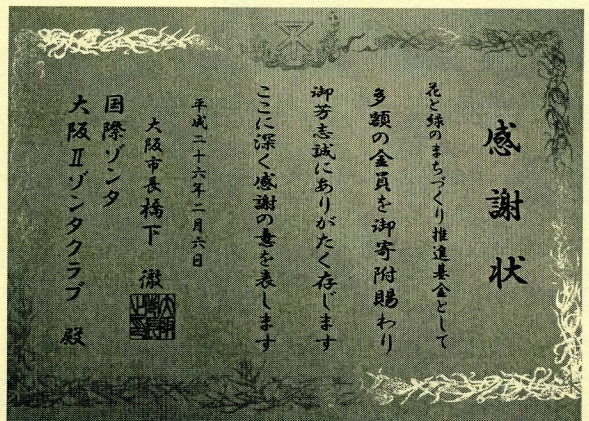
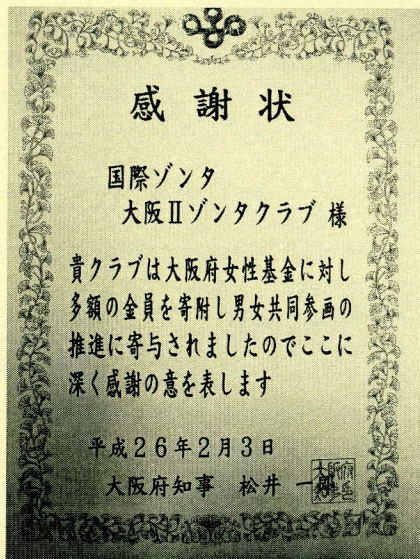
今回の旅行では、田中さんの素晴らしい企画にびっくりし、皆様がバスの集合場所にちゃんと時間通りに集まれるのに驚き、そして、満開の桜にも感激し、素晴らしい旅行を楽しむことができました。どうもありがとうございました。





# 2013年度の活動

月	日	曜	例会場所	事業内容	その他
<b>2013</b>					
6	20	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	総会 2012年度・決算報告・審議 2012年度・年間活動報告・各委員会報告 2013年度・年間活動計画協議	6/1 国際会費(12.6.～13.5までの分)支払期限 6月 エリア費・地区費支払 6/30 前期会費納入期限(6万円) 偶数月20日にADにクラブ現況報告 エリア通信奇数月に発行
7	11	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	2013年度・年間活動計画案 「日本のゾンタクラブ50年の歩み」記念誌配布 20周年資料収集	
8	25	日	親睦納涼会	移動例会 明石菊水鮎(12:00～) 20周年記念誌編集作業(明石 河村宅 14:00～)	
9	12	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	新入会員 佐野由紀子氏 入会式	大阪II会報誌No.36号発行
10				地区大会参加のため、通常例会は休会	地区大会(10/10～10/14) 岡山
11	3	日	秋の親睦旅行 (1泊2日)	東京方面(ツアーリーダー 田中茂美氏)	
	4	月			
	14	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	卓話 「百六歳の現役声楽家 嘉納愛子氏、私の人生」	
12	1	日		ベトナムベンチエ支援学校創立10周年式典	
	7	土	忘年会	17:00～ 大阪新阪急ホテルB1 ステーキハウス「ロイン」	
<b>2014</b>					
1	9	木	新年会	18:00～ 花外楼仮本店	1/11 アメリア・イアハートの日
				ゾンタローズデー・チャリティイベント準備開始	1/31 後期会費納入期限(5万円)
2	13	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	通常例会	
				指名委員選出	
				次年度奉仕先検討	
3	8	土		ゾンタローズデー・チャリティイベント	3/8 ゾンタローズデー(国際女性の日)
				「黄色い薔薇のコンサート」 (ピアノ 宮崎剛氏、バイオリン 寺西一巳氏) 大阪市北区北新地「サロン・ドウ・アヴェンヌ」 17時開演	3月 エリアに年間活動報告書提出
				次期会長・役員選出	大阪II会報誌No.37号発行
4	12	土	移動例会 (1泊2日)	「吉野の桜を楽しむ旅」 (ツアーリーダー 田中茂美氏)	4/29 大阪I ZC 創立50周年記念式典
	13	日			
	17	木			
5	8	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	通常例会(総会) 13年度事業報告他	次期会長・会計を国際本部に報告
				2014年度・活動計画検討	





椿

宮本 典子



私は縁あってベトナムに黄色い椿を見に行ってから、椿が大好きになってしまいました。今回は椿についてご紹介いたします。

椿は桜とともに日本の代表的な花木といっても異論はないでしょう。日本ツバキ協会の調べではいま全国で98の市町村が、ツバキかその兄弟分のサザンカをそのシンボルとしています。ちなみに京都市の市の花はツバキ、神戸市はさざんかです。10年前、平成の市町村大合併前には実に233の自治体がつばきやさざんかを市の花、町の花にしていたそうです。

その様に愛されているツバキは日本原産で *Camellia japonica* L の学名をもっています。正式にはヤブツバキ、自生地は日本、沖縄から北の男鹿半島まで、朝鮮半島西側にもあるといわれています。日本産のツバキ属植物は他にサザンカ *Camellia sasanqua* Tunberg が四国と九州南半分と沖縄に分布し、そして沖縄には香りのあるヒメサザンカがあります。椿といういろいろな種類があるように見えますが、日本にあるのはヤブツバキがもて「乙女椿」とか「白玉椿」、色々な椿はすべてヤブツバキから出発したものです。ヤブツバキは自家受粉しないよう変異がおきやすい特徴があります。さらにサザンカや他のつばき、中国原産のトウツバキなどとかけ合わせ、沢山の品種ができています。

茶(チャ)もまた椿の仲間で、これは *Camellia sinensis* L. 支那(中国)のという意味で中国原産です。

つばきは温暖な日本の自然を作っている照葉樹林の代表的な樹木で、つややかな葉を持っています。つばきという名は艶葉木から来ていて木偏に春と書く椿という字は、純日本製の字といわれます。中国では日本の椿は海石榴。中国産のつばきは山茶といえます。山にあるチャです。

椿は古くから日本人の傍らにあって種子から油をとり、材は固く斧の柄などに使われました。椿の杖は吉祥のものとして東大寺の宝物にも見られます。また椿の灰は紫草の媒染剤として特別に重要でした。花は歌にもよまれ、鑑賞されています。

万葉集 第1巻に

巨勢山のつらつら椿つらつらに見つ俣ばな 巨勢の椿を

川上のつらつら椿つらつらに見れども飽かず 巨勢の春野は

と問い歌と返歌があります。

経済の発展とともに花をめぐる人も増え、江戸時代には日本最初の植物図鑑と云われる花壇綱目には66種類の椿が記載されるほどの椿ブームがおこりました。2代将軍秀忠が椿をこよなく愛し江戸城にお花畑を造ったのは有名です。

椿はいつ世界に伝えられたかという早くから交易のあった中国を別として、ヨーロッパには南蛮貿易の16世紀後半以降と考えられます。記録ではオランダの東インド会社の商館長として1682年から勤務したクレイヤーと彼に同行したバタヴィアの庭師マイスターによって書かれた報告が最初といわれます。クレイヤーはドイツの科学アカデミーに1689年にラテン語で報告し、そこではツバキのことを [Tzumacky] とよんでいました。

ケンペルが出島の商館付医師として赴任してきたのは1690年で彼は日本の珍しい植物を詳しくさし絵をつけて報告し(1712) ツバキやチャとサザンカについても述べています。彼は、ツバキを「Tubakii」と呼び、日本人は日本に900種類の椿があるといったと述べています。彼はイチョウが化石の中でなく日本に現存することを報告した最初の人です。



ツバキのことを *Camellia* と名づけたのは、分類学の大御所リンネで、ケンペルの報告を参考にしたのですが *Tubakii* という名はラテン名にあわないので気に入らず、ジェスイット派の宣教師でいろいろな動植物の報告をした George Kamel にちなんだ名付けました。Kamel は自分の報告を *Camel* という名で書いたためリンネはイギリス人と思ったようです。リンネはチャとツバキを分類し、チャの学名を *Thea sinensis*、ヤブツバキを *Camellia japonica* と命名したのは1735年でした。その頃にはヨーロッパにも生きた椿が届いたようですが、直接日本のツバキが伝わったのはシーボルトが送った久留米のつばきですべて *C. japonica* でした。その一つ「正義」と思われるものは、それを助けた職人の名を取ってドンケラールと呼ばれ1833年オランダの園芸展に出品されています。外にもシーボルトはいくつかの品種を持って帰りました。その美しい花が広まり、デュマの小説『ツバキの花をつけた淑女』ができたのは1848年で、1852年の同名の戯曲にもとづき有名なオペラ『ラ・トラヴィアータ』が生まれました。

編集後記

3年前から坂本会員と2人で広報誌を担当、半年ごとの発行で今回は6回目、この38号でやっと委員交代になります。この広報誌でクラブの活動を広く知らしめるという使命を少しでも果たせたかと思うとやれやれです。

世の中が騒がしくめまぐるしく変わっていく中で、大阪Ⅱ ZC の活動が個々の会員の奉仕精神と勇気、根気、体力でささやかながらでも、ぶれることなく続けていけますように願っています。

会員の皆様、寄稿のお願いに快く応えてくださりありがとうございました。

辻 康子